

児童・保護者 学校評価アンケートの集計結果

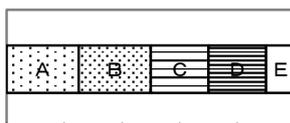
12月に実施しました学校評価アンケートには、児童223名及び保護者220名の皆様から回答をいただきました。お忙しいなか、ご協力いただき、ありがとうございました。

学校では、アンケート結果を基に今年度の取組を振り返り、今後の教育活動に生かしていきたいと思えます。また、「不十分である」という評価割合の高かった内容については、その要因を検討し、取組、指導の見直しに努めていきます。

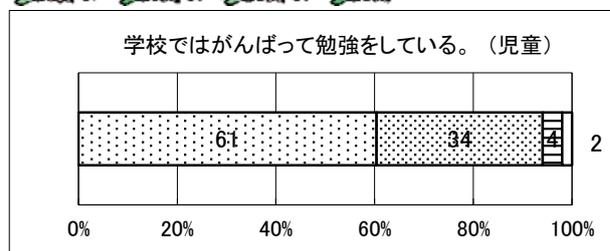
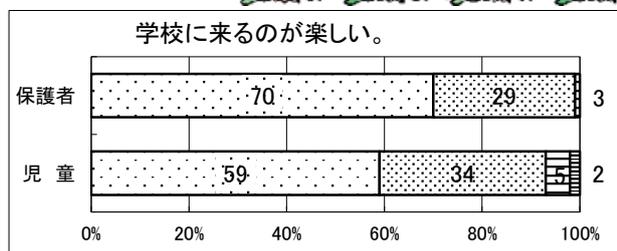
今後とも、学校と地域、家庭が一層連携を図り、児童のよりよい成長に結び付けていきたいと思えます。どうぞ、よろしくお願ひします。

○ グラフの見方 表題に対して

- A=よくあてはまる
- B=あてはまる
- C=あまりあてはまらない
- D=全くあてはまらない
- E=無答

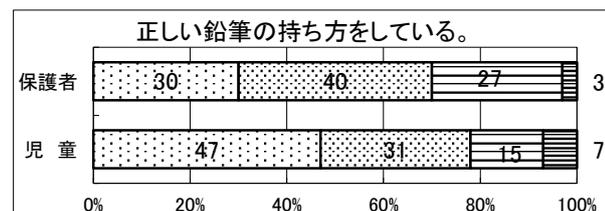
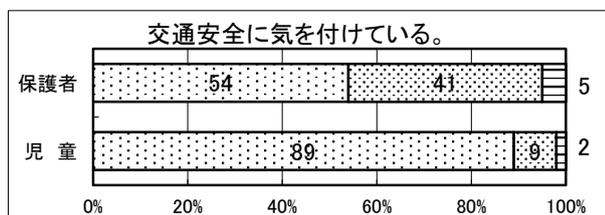
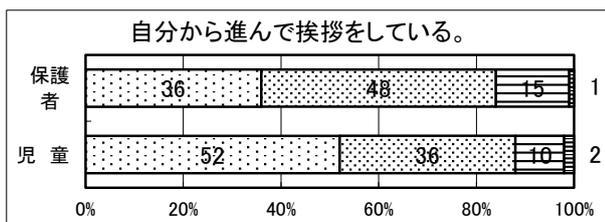


上段：保護者アンケート
下段：児童アンケート



「学校に来るのが楽しい」と思っている児童は、A・B合わせて93%います。また、「学校ではがんばって勉強をしている」と答えた児童は、A・B合わせて95%でした。昨年度と比較するとほとんど同じ割合ですが、Aの「よくあてはまる」の割合が5%程度少なくなっています。また、「学校に来るのは楽しくない」「あまり楽しくない」と答えた児童も若干名います。今後とも、個別面談等を通して、児童一人一人の思いに寄り添いながら、丁寧に対応し、学校生活の充実に向けて支援していきたいと思えます。

本年度重点項目：具体的な目標として機会あるごとに呼びかけてきたものです。



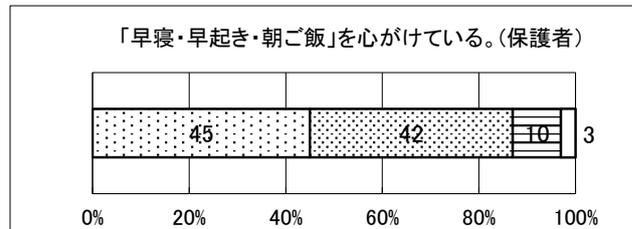
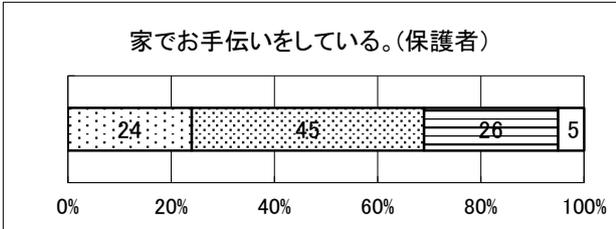
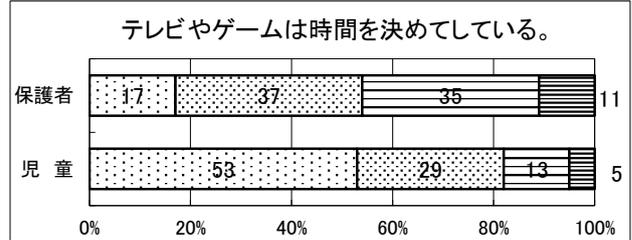
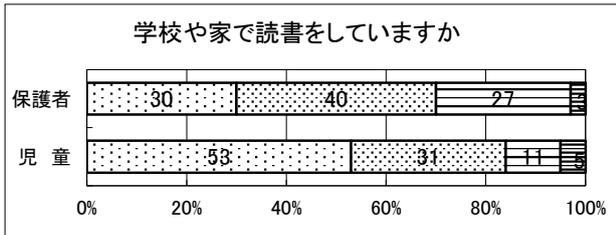
○本校では、「あいさついっぱい 思いやりあふれる 石田っ子」の児童会スローガンのもと、挨拶運動に取り組んできました。今年度もプロジェクト委員会を中心となり、児童玄関前で挨拶運動をしたり、お昼の放送で全校児童に呼びかけたりしています。しかし、挨拶の声が小さかったり、自分から進んで挨拶ができていなかったりするのが現状です。家庭や地域の協力を得ながら、根気強く指導を続けたいと思えます。

○今年度は自転車による飛び出し事故が1件ありました。学校では、あらゆる機会を通して、交通安全への意識を高めるよう繰り返し指導してきました。また、石田地区交通安全協会はもとより、各団体や地域の方々も、子供たちの安全について積極的に関わってくださいました。しかし、登下校中の歩き方や家に帰ってからの自転車の乗り方等、課題もたくさんあります。交通安全等の安全指導へのご協力をお願いします。

○正しい鉛筆の持ち方をしていると答えた児童は、A・B合わせて78%でした。昨年度と比べると若干よくなっています。学習の基礎を培う低学年のうちに、しっかりとした学習習慣を付けることが大事です。



家庭での様子



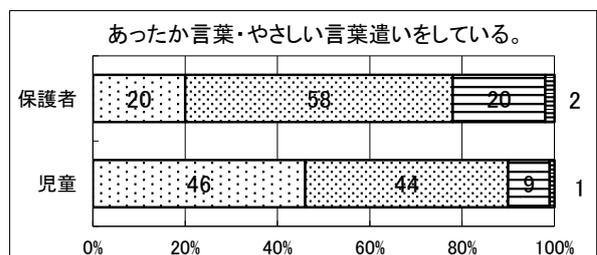
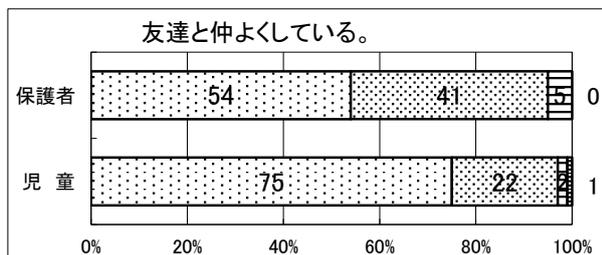
○読書活動の充実については、今年度からアクションプランの一つとして取り組んできました。さわやか活動の全校読書を週二回に増やしたり、市立図書館からの団体貸出の回数を増やし、児童のリクエスト等に応じ、興味・関心の高い本の貸し出しを行い読書環境の整備を図ってきました。その効果もあって、学校では進んで読書に励む子供の姿が増えました。しかし、家庭に帰るとゲームやテレビ、習い事やスポーツ少年団の活動等、読書より子供たちの興味を引く物があったり、落ち着いて本を読む時間が取れなかったりするなど課題もあります。

○テレビやゲームについてのアンケート結果では、今年度も児童と保護者との間で大きな差が出ました。アンケート結果では、児童がA・B合わせて82%に対し保護者は54%でした。子供にとっては家で決めた約束の時間を守っているつもりでも、親の目からは見れば守れていないと捉えている保護者がとても多いです。今年度は、4月より保健委員会の提案で毎週火曜日を「ノーゲーム・読書デー」として取り組んでいます。ゲームをしたりテレビを見たりするのではなく、読書をしましょうと呼びかけました。「親子でゆったりと本を読む時間がもてました」など、肯定的な意見を多くいただきました。今後も継続して取り組んでいきたいと思います。

○家でお手伝いをしたり、学校で掃除や係・委員会活動を熱心に取り組んだりする子供は、学力が高いという結果が出ています。これは、物事に対しての心構えが積極的になるばかりでなく、仕事や作業をする手順を考えたり、先を見通す力が付いたり、他の人の気持ちを考えたりする力が付くからだと言われていました。また、「早寝・早起き・朝ご飯」については、子供たちの基本的な生活習慣の要となるものです。特に、朝ご飯については、発育盛りの小学生にとってはとても大切なものです。栄養バランスのとれた朝食となるようご家庭での配慮をお願いいたします。



温かい人間関係づくりについて



○温かい人間関係づくりでは、毎学期「ふれあい週間」を設け、事前にとった生活アンケートを基に担任と一対一でじっくりと話をする時間をとっています。このことで、普段は何気なく思っていたことも、話をしてみて初めて分かったことも多々ありました。また、毎月10日を「いじめ0の日」と位置付けて、お昼の時間にランチルームで、自分の行いや言葉遣いを振り返る時間をとっています。また、児童会のプロジェクト委員会が、各階の廊下に「ほかほかポスト」を設置し、「ほかほかメッセージ」運動を推進しています。この運動は、友達に言われて嬉しかった言葉や行いをメッセージに書いてポストに入れると、ランチルームでお昼の校内放送で紹介され、親切な言動をした相手に配達されるという取組です。いろいろな取組を行っています。まだ乱暴な言葉遣いや人の嫌がる行動をとる児童もいます。好ましい人間関係づくりができるよう、これからも根気強く指導を続けていきたいと思います。